

テキストファイルの読み込み

■ scan() で文字化けが原因で読み込めない場合

invalid multibyte string

- ・ 文字コードの指定オプション fileEncoding="UTF-8"
- ・ もしくは、encoding="Shift-JIS"

```
bun.tmp <- scan(" ファイル名 ", what="char", sep="\n", fileEncoding="UTF-8")
```

■ 文字数を数える：

■ 文字変数の中身を出力する：print()

■ 変数を連結した後、中身を出力する：cat()

- ・ 要素を連結して、出力する。
 - ・ print() は、出力だけ。
 - ・ cat() は、連結と出力をする。
 - ・ paste() は、連結だけ。
- ・ オプション file=" ファイル名 " をつけることでファイルに保存できる。
- ・ append=T を指定すると、既存のファイルに追記する。

■ 文字を連結する：

- ・ 連結するものはデフォルトでは半角スペース
- ・ 変えたいときは、sep=" 文字列 " と指定する
- ・ ベクトルの要素をつなげるときは、collapse=" 文字列 " で指定する

置換

■ データフレーム内の文字列の置き換え

- ・ 直接は扱えないので、いったん、マトリックスに変換して、元に戻す
 - ・ 一旦マトリックスに変化して、元に戻すと、データの型が chr になってしまう
- ・ 数字は型を戻す必要がある
- ・ 上で使った置換部分のスクリプト
- ・ 置換前
- ・ 置換後